

## 学位論文審査の結果の要旨

Farhana Islam

本研究は、バングラデシュ・クルガオン県の153世帯を対象に実施した聴き取り調査から収集したデータを用いて、当該地域におけるモバイルバンキング（Mバンク）の利用の実態を、計量経済分析により明らかにしたものである。具体的な課題はMバンク利用の要因の解明、Mバンク利用における夫婦間較差に関する分析、Mバンク利用と妻の社会経済的地位に関する分析である。一連の分析結果から、Mバンク利用の主な要因は教育水準や性別等の世帯主属性及び携帯電話の保有であること、Mバンク利用の要因は夫婦間で異なること、Mバンクを利用している妻は教育水準が高く都市に居住している傾向にあるものの、家計や外出の意思決定においては制限があること、等が見出された。これらの知見は発展途上国の農村部におけるMバンク利用に関する研究に大きく寄与するものである。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士(農学)の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。

審査委員会において日本語訳論文名を英文論文名に一致させたほうがよいという意見が出たため、以下のように変更する（英文論文名は変更なし）。

変更前：バングラデシュ北部農村部におけるモバイルバンキング導入に関する実証研究—世帯内の男女格差に着目して—  
変更後：バングラデシュ北部農村におけるモバイルバンキング利用に関する実証研究—世帯内の男女格差に着目して—

## 最終試験の結果の要旨

Farhana Islam

最終試験は、令和元年6月23日に東京農工大学農学部にて、学位論文の公開発表に引き続き、論文審査委員により行われた。最終試験では学位論文の専門領域に関する質疑応答がなされた。その結果、本審査委員会は Farhana Islam さんが自立して研究を進めることができる学力と見識を有しており、博士(農学)の学位を授与するに足る資格があると認め、最終試験を合格と判定した。